

## 川崎重工グループの研究開発の基本方針

川崎重工グループの企業価値を持続的に向上していくため、持ち得る技術を結集するとともに技術シナジーの活用を追求して、競争力のある新製品・新事業の開発に、事業部門と本社技術開発本部が一体となって取り組んでいます。

収益性向上に向けて、製品の競争力強化のみならず、水素サプライチェーンなど市場の早期開発によるデファクトスタンダード化や当社製品の遠隔監視などサービス事業強化も推進しています。

また、事業の基盤となるさまざまな業務プロセスの高度化にも取り組んでいます。具体的には、総合的品質管理(TQM)の強化、デジタルトランスフォーメーション(DX)による業務プロセスの見える化と生産性向上、革新生産技術を武器としたものづくり力の強化、革新デジタル設計技術の活用による設計力強化、事業戦略と連動した知的財産活動を推進しています。

## 将来の社会課題の解決に向けて

創業者である川崎正蔵の「そのわざを通じて国家社会に奉仕する」との理念をもって、120年以上にわたり革新的な技術を基盤に新製品を開発してきました。そして、たとえば3K職場への産業用ロボットの適用など、さまざまな社会課題に対するソリューションを提供してきました。

刻々と変化している世界のマーケットや社会のニーズに適した革新的なソリューションをタイムリーに提供するため、これらの変化をビジネスチャンスと捉えながら、労働力不足を補うための輸送機器・産業機械の自動化・自律化など、新たな価値

の創出にもスピード感を持って挑戦していきます。

このように、事業部門と本社技術開発本部が一体となって非連続的イノベーションを実現しながら、将来の社会課題を解決するソリューションとして、今までに培った信頼の技術や知見を結集して「新製品・新事業」の開発に注力し、「陸・海・空における安心・安全、クリーン、快適な移動・輸送手段の提供」「クリーンエネルギーの創出」「新興国を中心とした社会インフラの充実」「自動化による高齢化・労働力不足への対応」の4つの社会価値を創出していきます。

